

令和5年1月

令和4年度 第2回 教育課程編成委員会

1.開会挨拶 委員長 佐藤校長

2.議事

- 1) 若年層スタッフの離職防止について、取り組んでいること。
- 2) 女性のエンジニア採用について
- 3) その他委員からの意見

1) 若年層スタッフの離職防止について、取り組んでいること。

以前の委員会議題と重複するところがあるが、他の委員からあらためての議題提案があったためあらためて議論

➤各社ともメンター制などを導入、定期的に目的を明確にした研修を実施。

- ① 個別のヒアリング機会を設ける（就業場所と異なる場所で）
- ② OJT 制度 新入社員に教える人 メンター的な役割のスタッフ を設定する。
- ③ グループの研修部門による階層別研修や外部講師による研修を受講。
- ④メンター制導入（年齢の近いスタッフ）
- ④ 年2回のフォローアップ研修を実施。
- ⑤ 研修とは別に、支店巡回時の声掛け

2) 女性のエンジニアについて、現状での在籍有無やその理由、今後強化していくかなどについて議論。

➤多くの企業様ですでに採用実績あり。設備面の強化をした企業もあり。

- ①採用活動は行っているが応募がないため実績がない。
- ②既存の工場には女性用トイレやシャワールームがなく、今後の課題である。
- ③男女問わず、選考次第で採用しているが体力面では男性と比べて低いため大型車両の整備ではなく小型車を中心に担当してもらっている。
- ④ブランド的にも女性の顧客が多くエンジニアも働きやすい環境だと思う。
- ⑤工場移転の際にロッカーやシャワールームを新設した。
- ⑥ 体力面で引け目を感じている者もおりケアが必要。

3) 弊社へのご意見・ご要望、等。

- ①整備職で数年経験したのちに钣金塗装職への異動も行っている。学生自身がキャリアプランをどのように考えているか知りたい。
- ②学生には作業に正確性の向上や作業効率の考え方動線を考慮した作業手順を指導してほしい。

③学生が企業選びで重視するポイントを知りたい。

横浜テクノオート専門学校の「教育課程編成委員会」は、企業様の人事異動等で少しずつメンバーの構成は変化しつつ、おかげさまで6年目を迎えました。

令和4年度第2回委員会は「若年層スタッフの離職防止」や「女性エンジニアの採用」等、3点を議題として挙げさせていただきました。

各委員所属企業様においても、若年層スタッフの定着離職防止に大きな危機感を持って対策を講じていらっしゃる事が分かりました。

外国籍や女性のエンジニア採用についても企業様による就労環境の改善や配慮をいただいています。

専門学校においても、学生と企業とのマッチングに対してもっと細やかな配慮が必要だと感じました。同時に学生にはレジリエンスを身につけさせることも重要だと考えています。引き続きご指導のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

令和5年1月 横浜テクノオート専門学校